



真打ち柳亭市馬師匠 懇親会会場での司会

第十回の記念すべき竹田高校
関東同窓会総会は、梅雨の晴れ
間の平成八年六月十五日に東京
は新宿の京王プラザの錦の間に
おいて、たくさんのお客生を集

平成八年・関東同窓会総会 盛會に開催

第十回 総会・懇親会

於京王プラザホテル
平成八年六月十五日

佐野 光代 (昭40年卒)



大分県立竹田高等学校
関東同窓会報
第14号

発行者・会長 伊東七五三八
編集者・委員長 神田 清
発行所・関東同窓会事務局
〒100 東京都千代田区永田町
2-4-11フレンドビル7F
電話 03(5251)2730
FAX 03(5251)2750

印刷・佐伯印刷 働

プログラム

〔総会の部〕

1. 開会のことば
2. 会長あいさつ
3. 会務、会計報告
4. 監査報告
5. 来賓の祝辞
6. 閉会のことば

—— 休 憩 ——

〔懇親会の部〕

1. 開会のことば
2. 来賓の祝辞と紹介
3. 乾 杯
4. 会 食・ 歓 談
5. アトラクション
6. 次回当番幹事パトントンタッチ
7. 校 歌 合 唱
8. 閉会のことば

めて盛大に催されました。
台風十二号が九州接近かとニ
ユースは伝えていきます。沖繩本
島を直撃し、東寄りの進路をと
れば九州西部に接近する可能性
もあるとか？ 今年もまた、山
紫水明の故郷竹田にとっては心
配な夏であります。線路沿いの
細い道を歩きながら、一般の同

窓会総会に思いを馳せています。
総会の部では、伊東会長の挨拶
や会務報告、そして来賓の田
北竹田高校同窓会会長の祝辞な
ど、盛り上がりのなか滞りなく
終わり、懇親会場へと席を移し
ました。多感な青春の日々を同
じ学び舎で過ごした者同士、大
先輩の方から今年卒業した若き
後輩まで、笑顔いっぱいのお話
が会場のおちこちに響きます。
人それぞれの胸に去来するもの
は違っても、故郷竹田の話は
この日の会場のまさしく主役で
した。「私はあなたのお姉さんと
同級生だったんだよ」とか「あ
なたとは通学列車が一緒でした。
学生時代は脇目もふらず真っ直
ぐ歩いていましたね」など、高

校時代の記憶を一つひとつたど
るように、お互いに竹田を確認
し合う人の輪があちこちに花を
咲かせていました。上京して三
十年の今ではすっかり都会暮ら
しが身についた幼な友達が言っ
た。「ここに来れば竹田がある」
という気持ちに「同感なり！」
と心から拍手を送りました。集
いは盛り上がり、緒方町出身の
落語家 真打ち柳亭市馬さんの
司会による抽選会があり、当選
者の発表に歓声をあげてはしゃ
ぐ姿は楽しいひとときでした。
夏の風物詩の甲子園の高校野
球が日本人の心を躍らせるよう
に、私達の心を躍らせてくれる
「関東同窓会」で来年またお互
いに元気な笑顔を見せましよう
と、「竹高われら意気高し」の校
歌を声高らかに歌い、別れを惜
しみながら会場をあとにしまし
た。



和気あいあいの懇親会



年に一度の総会 — 伊東会長挨拶 —

母校の

近況報告

校長 久山 征三



総会でご挨拶される
新校長 久山征三先生

同窓生の皆様方には平素より母校竹田高校に対して絶大なご支持・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は今年三月末に定年により勇退されました尾西陽一校長の後任として、佐伯鶴城高校より着任いたしました。今年は私も含め十八名の新しい職員が着任しています。何とぞよろしくお願いいたします。

さて、皆様の母校は、創立百周年(平成九年)を迎えるにふさわしい学校づくりのため教職員・生徒・保護者が一体となって頑張っています。ここで母校の近況報告を若干させていただきます。

まず、施設・設備に関しては教室棟の大規模改修が完了し、教室がすっかりきれいに明るくなりました。空調設備も整い、

来年は職員室の設置がきまり、残すはクラスの教室のみとなりました。また、プールの改修工事が終了し、六月に落成を兼ねてプール開きをしたところです。

教育活動では、学習活動・部活動等にも成果があらわれています。学習活動に関して、本年度の大学入試で国公立大学の合格数が過去最多でありました。一方、部活動に関しても活発で、毎年80%以上の生徒が何らかの部に入り、体力・気力等の向上を図り、人間としての資質向上を高めるよう努力しています。

本年度の高校県体では山岳の優勝(五年連続)、弓道・陸上・柔道・剣道等の躍進がみられました。又、野球が力をつけており、来年は甲子園出場を期待したい。

このように生徒は輝かしい伝統を受け継ぎ、「文武両道」頑張っております。

私もここを豊かなたくましい人材の育成のため全力を挙げて取り組む所存であります。皆様のご支援を心からお願い申し上げます。

(追伸)

第十回竹田高校関東同窓会総会に出席させていただきました。誠にありがとうございました。

皆様の、母校に対する熱い・暖かい思いが伝わり感激いたしました。皆様方の今後の御健勝・御活躍と関東同窓会の益々の御発展を祈念申し上げます。

竹田高等学校関東同窓会役員名簿

(平成8年5月14日現在)

相談役	高宮 昇(昭8年卒)	会長	伊東 七五三八(昭20年卒)	副幹事長	西 誠(昭30年卒)
	渡辺 正治(昭10年卒)	副会長	近藤 秋男(昭23年卒)	総務委員長	渡辺 真一(昭23年卒)
顧問	中川 清次(昭4年卒)		長 吉 泉(昭26年卒)	企画委員長	工藤 敏暢(昭29年卒)
	加藤 郷一(昭5年卒)	監事	栗生 利信(昭23年卒)	組織委員長	川合 文彦(昭30年卒)
	工藤 幸男(昭6年卒)		吉田 忠(昭10年卒)	広報委員長	神田 清(昭26年卒)
	田部 健(昭11年卒)	幹事長	留高 照幸(昭20年卒)	名簿委員長	山口 雄三(昭29年卒)
	里見 菊雄(昭26年卒)		佐藤 映之(昭28年卒)		
	池内 勇吉(昭23年卒)				
	得丸 大典(昭20年卒)				

平成七年度 会務報告

幹事長 佐藤 映之 (昭28年卒)

平成七年度(平成七年四月〜平成八年三月)の会務報告を次の通り行います。

●平成七年四月七日(金) 役員会
学士会館、役員改選の件、会則一部改正について、春の定例幹事会の件、第九回総会懇親会実施について

●四月二十一日(金) 幹事会
学士会館、会則変更の件、役員改選の件、維持会員の増強と会費の徴収について、各委員会活動報告、総会懇親会における役割分担について

●六月九日(金) 役員会
学士会館、総会議案等最終確認、役員決定の件、総会懇親会準備状況について

●七月八日(土) 第九回総会、懇親会
於新宿ホテルセンチュリーハイアット、参加一九八名、(総会の部)開会、会長挨拶、会務、会計報告、監査報告、会則改正、来賓挨拶、閉会、(懇親会の部)当番幹事、第六期(二十九卒)、第十六期(三十九卒)、来賓祝辞、アトラクション
白石哲也氏ピアノ演奏、阿部恵美子さんの歌、新入会員紹介、出席者に竹田産品土産、郷土産品コーナー

●八月四日(金) 役員会
学士会館、母校創立一〇〇周年寄附の件、広報委員会新メンバー編成について、委員長 神田清(二十六年卒) 佐藤毅士(二十八年

卒) 萩原忠(三十六年卒) 菅豊広(三十八年卒) 田部修士(四十二年卒) 長松周二(四十三年卒) 木村明美(四十三年卒) 三尾まゆみ(五十四年卒)

●九月一日(金) 総会、懇親会
反省会 学士会館、総会、懇親会
会総括(企画)会計報告(総務)維持会費納入状況報告(総務)消極学年幹事への呼びかけについて(組織)名簿再整備の件(名簿)広報紙「臥牛」への原稿応募及び広告協賛の件(広報)母校一〇〇周年行事の件(事務局)

●十月六日(金) 役員会
学士会館、広報紙「臥牛」十二号発行について、幹事会へ秋の日程決定の件、各委員会活動状況について

●十一月二十四日(金) 幹事会
学士会館、第九回総会、懇親会結果報告、次回、当番幹事への



引継ぎ、母校、尾西校長特別出席、創立一〇〇周年記念行事における協力要請、最近の母校の動向について、組織委員会新メンバー編成について、委員長 川合文彦(三十年卒)高山英一(十七年卒)徳丸達男(二十五年卒)牧文男(二十七年卒)平手肇(三十五年卒)佐藤隆尋(三十七年卒)土居美代子(三十八年卒)後藤猛士(四十一年卒)甲斐文夫(四十三年卒)小代基昭(四十五年卒)後藤和典(四十七年卒)後藤治彦(五十五年卒)

●平成八年二月二日 役員会
 学士会館、役員会年間日程決定の件、母校への寄付状況(関東同窓会関係)把握と各学年幹事を通じての協力促進について、広報紙「臥牛」掲載内容一部検討の件

●三月一日 役員会 学士会館、春の定例幹事会開催について、住所不明者(郵送返却分)約百名の取扱について、第十回総会、懇親会の準備状況について

会計報告

収支決算報告書

(平7.4.1から平8.3.31まで)

1. 収入の部	
① 維持会費	2,048,000円
② 総会費	1,402,000円
③ 広告料	90,000円
④ 総会祝金	50,000円
⑤ 受取利息	34,135円
計	3,624,135円
前期繰越	1,919,202円
合計	5,543,337円
2. 支出の部	
① 総会費(第9回)	2,448,307円
② 幹事会等会議費	374,607円
③ 会報費	336,222円
④ 会員名簿費	492,175円
⑤ 事務通信費	153,456円
⑥ 支払手数料等	25,950円
計	3,830,717円
次期繰越	1,712,620円
3. 次期繰越の内訳	
① 定期預金	1,033,474円
② 普通預金	425,572円
③ 現金	253,574円
計	1,712,620円

上記の通り報告します。

平成8年5月10日
幹事長 佐藤 映之 ㊟

監査報告書

監査の結果、この収支計算報告書は、適正かつ正確であることを認めます。

平成8年5月18日
監事 吉田 忠幸 ㊟
監事 留高 照幸 ㊟

委員会報告

総務委員会について

総務委員長 渡辺 真一

総務委員会は、会の具体的な活動の一分野を分掌する部門として会計事務の担当が主たる任務であります。したがって、その源泉である維持会員の増強とその管理も主要な任務と心得ております。会運営の経費の支弁のうち維持会費によるものが六〇パーセントを超えている現状です。維持会員は八月一日現在四一四(四五九口)となっておりませんが、この二、三年の状況を見ますと加入者数八〇名前後に対し同数程度脱会するという状況で全体として、四〇〇名前後の維持会員数で推移しております。同窓会員数から見ても、会の財政を支える維持会員数はな

んとしても五〇〇名以上は確保したいとの強い気持ちで努力をしております。
 どうか今後とも維持会費に対するご理解を賜り維持会員加入についてご協力をお願いします。
 なお、維持会費は毎年六月末を目途に納入方をお願いしておりますが、八年分を含め未納の方は、是非共、早急に納入いただけますようお願い申し上げます。

企画委員会便り

企画委員長 工藤 敏暢

当会の節目となる第十回総会は、去る六月十五日(出京王プラザホテルにて一七八名の参加を得、盛會裡に終える事ができました。次回第十一回総会は、三十一年・四十一年卒の方々に当番幹事をお願いし、平成九年六月二十八日(出)ホテルセンチュリ

組織委員会から

組織委員長 川合 文彦

組織委員会からのお願い

今年の関東同窓会総会懇親会への出席者の特長は、女性が昨年より20人少なかったこと、35・36・48・49年卒組が0、43年卒組以降の若い世代の参加がやはり少なかったことです。学年毎の幹事さんが、よく世話をやいている年次の人達は、同級会で集まりはよいようです。これをヨコ系にも一つタテ系の関東同窓会への関心を持ち、出席を希望していただきたいと思っております。特に学年幹事さんの今一段のご協力をお願いいたします。

広報委員会から

広報委員長 神田 清

臥牛を会員相互の自由な意見交換・触れ合いの場として大きく育てよう!!

投稿原稿は出来る限り原文のまま掲載させて頂き、或る一定の決まった枠に拘泥せず幅広い内容を盛り込んだ編集を基本に進めております。然かしながら紙面の都合上一部割愛掲載の不十分な点はご寛容賜り格段のご理解とご支援の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

名簿委員会から

名簿委員長 山口 雄三

名簿委員会の主たる仕事は同窓会会員名簿の作成ですが、そのためには会員の動向に関する情報を常にモニターしておくことが必要です。その情報は毎年一回学年幹事をお願いして集めて頂いております。ここに改めてご協力に対して御礼申し上げます。また諸般の事情で本年は名簿作成が出来ませんでした。来年用のデータは準備出来ております。なお学年幹事が登録されていない学年は、データの更新が出来ないので、困っています。なるべく早く学年幹事を選出して登録して下さるようお願い致します。

海外だより

国際化について考える

里見 菊雄 (昭26年卒) (註A)

昨今の日本企業の海外進出や日本人の海外旅行熱と共に日本の国際化が言われて久しい。日本もしくは日本人の果たす国際社会における貢献は益々大きくなると共に、その責任も重くなつて来ていると言える。

ニューヨークにおける大和銀行事件等の処理を報じた新聞の批評の中に「文化の違い」といった様な簡単な表現を見ると、日本の国際化の道程はなかなか大変だと思ふ。

郷に入れば郷に従え!

古来から日本でも「郷に入れば郷に従え」といった様な良い言葉があるにも拘らず、日本がその国力を増すにつれてやや思ひ上がつて来ると、この様な言葉は何処かに忘れられてしまうのだろうか。

昔の話になつて恐縮だが、私は一九六四年から約三年間ドイツのフランクフルトに住む機会を得た。当時のドイツは日本に対する関心度も低く、街の人の中には、日本は中国大陸と地続きの小国位にしか思っていない人も可成いた。日本企業の名前

も、オートレースの関係で「ホンダ」とトランジスタの「ソニー」位しか知られていなかった。当時の私はドイツ社会に対して、一寸堅苦しいところがあるものの一定のルールが分かれば極めて住み易い社会であるという印象を持った。勿論、この中に良いところも悪いところもある訳である。

生活の場での「道徳倫理教育」責任と誇りある「親」として

— 厳しい幼児からの躰 —

例えば、ドイツ人の家庭の子供に対する躰は非常に厳しい。列車に乗る為に並んでいる列を乱して子供が先に席を取ろうとした時に、人前でその子供を打擲するのを見て、驚くと共にその公衆道徳を重んずる習慣に感心したりした。又、子供の喧嘩に親が出すぎるかなとは思つたが、公園の砂場等で玩具の取り合いをする子供に親が自分の子供、他人の子供に分け隔てなく説教し、争う子供達に所有権について説教して居るのを見るにつけ、随分小さい時から物の所有に関する権利を認識させるん



傘下の米国子会社ツルテックUSA(オハイオ州)

だと思つたりした。

もし、午後三時に招待を受ければ、それはお茶とケーキに招かれたものである。この場合は五本乃至七本の花束を持って訪問し、先方の主婦も空いた花瓶を用意して早速その花束を入れて部屋を飾る。また、お茶に呼ばれた場合はいくらか楽しい時間であつても夕食前には必ず帰らなければ失礼になる。一方、七時に招かれた場合は夕食であり、この場合は深夜まで居ることになる。

当初、小生の家にドイツ人の友人夫妻を招待した時、十一時を過ぎてもう出す物もなくなつても友人夫妻は一向に帰る風もなく、やつと十二時を過ぎてから「あまりの楽しい時を過ごしてつい時間がたつのを忘れてしまいました。もう十二時ですから帰ります」と言われて、そんなにこちらの接待が良かったも

のかと思つた事があつた。その後、他の方を招いても毎回同じ様に夜十二時まで客が帰らないので、他のドイツ人に聞いたところ少なくとも十二時位迄は居るのが呼ばれた場合の礼儀であり、我々は本当に仲の良い友人の家に行つた時は二時頃迄は居る事があると聞いてびっくりしたものである。一般にドイツの人々は大変社交的であり言葉はたくみであるから、我々日本人としてはなかなかその表現について行けない場合がある。例えば、我が家で焼き焼きに招待した場合、賛辞として「私は度々日本に行きすぎ焼きに招かれたが、今晚ご馳走になつた焼き程おいしいのははじめてです」という様な褒め言葉を頂戴し、ドイツで苦勞して材料を集めて作つた我が家の焼きは鼻高々であつたが、二度三度と同様な賛辞を頂戴して居る内に、これ等もドイツ人が身に付けている社交上の賛辞の一つであり、その言葉だけで有頂天になる訳にはいかないという事が分かつてくる。

以上色々経験する間に、やはり日本人・ドイツ人というそれぞれの社会の行き方は一寸しれ所でもそれぞれ違いがある事が分かつて来ると共に、他の国の社会に自分で入りこまないという理解が出来ないという事が分かつて来る。

(※に続く)



ノルウェー BERGEN町にて 筆者近影



独ヘンケル社幹部との交流 於 ザルツブルグ



キール大学(独)マツトヘス博士(地質学者)と筆者

誇りある民族としての品性までも失わせたか？

◆東西ドイツ間の経済格差◆

東ドイツへは昨年春に初めて訪れ、西ドイツとの経済格差が想像以上に大きいのに驚いた。象徴的なのがトラビークの愛称でよばれる大衆車で、敗戦後の日本で見かけた国産車(オオタ)と同様に黒い排煙を派手に出しながらバタバタと走り廻る。西側のペンツとは好対照をなす。アウトバーンの路面も東ドイツに入ると凸凹が目立つ。路肩を示す反射灯のついた白いボールの代わりに立木の幹に直接、白いペンキを塗っており、夜は照

ドイツで感じ、考えたこと

高山 茂美 (昭26年卒) (註B)

明もなく、市街地を出ると真暗になる。集落に入ると、失業中なのか若者が通りにたむろしている。近づくると一斉に凝視され薄気味悪い。東ベルリンのベルガモン美術館を見学した帰途、少女数人に囲まれた。厚かましくも私のポケットに手を突っこんで金めの物を探っている。白昼堂々とこのような破廉恥な行為を少女達がするとはい誇り高いドイツ人のイメージからは程遠い。一喝したらにやりと笑って悠然と立ち去った。西ドイツしか旅行したことなかった私にとってこの体験には愕然とした。以後、東ドイツでは油断がならないと身構えて旅行したので精神的にも疲れた。ライプチヒ市郊外には東欧からの難民が住む粗末なバラック小屋が林立し、スラムを形成している。亡命者達は故国を捨ててこのようなスラム街での生活に夢を托したのだろうか。

東ドイツを抱えこんだ西ドイツの負担はかなり大きいであろう。統一ドイツの前途にかなり厳しい将来が見えて同情を禁じ得ない。社会主義体制四十数年のツケは経済だけでなく、ドイツ民族の矜持まで失う結果をもたらしたのだろうか。

※国際化の進展と互いが留意したいこと

「相手国に対するより深い理解を」

最も避けねばならない事は、日本人の内だけで、例えばドイツ人はこれこれ然々という定義または固定観念に支配されて理解する努力をしないで物事を判断して行く事にある。今や日本人の旅行者は世界各国で見かけているが、願わくば単なるパツケーアジツターの観光客の如く上っ面だけを見てその国を理解した気持ちになるのではなく、その社会を理解出来るような体験を伴ったものであつて欲しいと思ふ次第である。言葉が出来ないからと自国の殻に閉じ籠もつていては外国を理解する事は出来ないし、たとえ言葉が出来なくても外国人と通じ合う事は充分できる。それを体験する勇氣を持つてば充分楽しむ事ができる事を知るべきである。今後益々国際化が進みその社会の一員としての役割が増すにつけ、その責任を果たすためにも相手を理解する勉強を怠ってはならないと思ふ。

(註A) 日本パーカーライジング株式会社
代表取締役副社長
筑波大学名誉教授

(註B)



ザルツブルグの市街

お知らせ

◎竹田会

平成8年11月29日(金) 予定 午後6時

・中野サンプラザ

◎第十一回

関東同窓会総会

平成9年6月28日(出) 予定 午前11時

・センチュリーハイアセント

◎母校百周年

記念式典・祝賀会

平成9年9月24日(水)

・於 母校

●お願い!! 百周年記念事業会募金のご賛同を重ねてお願い申し上げます。

日米欧特許管式人工歯根

入れ歯でお困りの方御相談下さい。

すが歯科クリニック

院長 菅 眞 一 (昭40年卒)

世界インプラント学会 Fellow & Diplomate

東京都港区六本木7-3-12 六本木インターナショナルビルB1

TEL & FAX 03-3478-4995

診療時間 AM10:00~PM6:00(土曜午前中)

アフターサービスで地元へ奉仕する

総合電化専門店

株式会社 マコト電気

代表取締役社長 佐藤映之 (昭28年卒)

本社・西荻店 〒167 東京都杉並区西荻北2-9-15(中央線西荻窪駅北口)

TEL.(03)3395-2267 FAX.(03)3395-2268

成増店 〒175 東京都板橋区成増1-31-12 TEL.(03)3979-5801

大泉店 〒117 東京都練馬区東大泉6-51-4 TEL.(03)3867-5301

橋本店 〒229 神奈川県相模原市橋本4-17-8 TEL.0427-71-8034

燃える!!

同期会

男女合同クラス会

内山 俱子(昭9年卒)

ふるさと竹田の山あいでは、落のとうが芽を出す頃と思われ三月下旬、高宮昇様より旧竹田中学校、女学校を昭和七、八年頃ご卒業の方々を中心としたクラス会が開かれるという懇切丁寧なご案内を頂きました。

四月二十二日会場の銀座七丁目五合庵に着くまでは、かなり緊張していましたが入口でにこやかなお出迎えを受けお部屋に入ると既に竹田の雰囲気でした。



男女、古稀を過ぎて席を同じくする

歓談の進む中、伊東会長の中学生時代竹田の町で買物をされた時のユーモアのあるお話は故郷を身近に感じ、大島藤様と平本キクエ様の老いに向かつての心構えと健康のお話しは、大へん貴重なお話しでした。

「男女七歳にして席を同じうせず」で育った年代です、余生を迎えた今、このお集まりでさわやかな青春が甦った気がしました。恒例の二次会は、喫茶店でジュースを頂き、名残りを惜しみつつ、お互いの健康と再会を祈って散会となりました。

関東竹高25会だより

鐘ヶ江碩則(昭25年卒)

関東竹高25会が発足して三回目の総会を平成八年五月十七日(三和銀行四ツ谷クラブ(本田君世話)で開催、これまでも毎年25会を行ってまいりましたが会則等なく、ただ仲良しクラブ的なものでありました。

現在は会長栗生君を始め、副会長、幹事、会計、監査計九名の役員を含め総勢約三〇名で毎年総会及び年二回の役員会を行っており、クラス及び郷里の状況等の情報交換の場として皆さん有効に活用しております。

今年度は二〇名の参加で会長の挨拶に始まり総会後、伊藤祐嗣君の乾杯の音頭で懇親会に移りました。皆さん久し振りに



関東25会・第三回総会参加者

ので一人づつ近況報告、すでに子育ても終わり悠々自適の者、まだまだ現役として頑張っている者等、多士済々でした。

途中会長から私達卒業旅行を実施していないので来年は、全国25会の卒業旅行を行ってはどうかという提案があり、出席者一同役員会にまかせるといふことになりました。

25会は竹田(本部)・大分・三重・関西・関東と五ブロックに分け毎年持廻りで行っており、今年十一月九日(出)三重ブロックが主催します。

早いもので高卒後四十六年間、全員(〇)のつく年齢になりましたが、懇親会時の皆さんの様子をみておられますと「われがおれが」の連発、口角泡を飛ばしながら高校時代に帰り和気藹々のうち

に愉快な一夜を過ごし来年の再会を約し無事終了致しました。

竹友会 — 卒業 —

四〇周年記念同期会

佐藤 博徳(昭31年卒)

(大阪在住)

「懐かしき第一青春時代の区切り、これからの第二の青春時代の出発点に、集え、友よ!」九月十五日、第八回生(昭和31年卒)「竹友会」は「卒業四〇周年記念同期会」を京都で開催しました。

会場は、洛西の広大な敷地内にある臨済宗本山妙心寺の瀟洒な宿坊・花園会館。全国各地から一〇六人の同期生が馳せ参じ、ある者は久方ぶりの出会いに、またある者は四〇年ぶりの邂逅に時の経つのも忘れて語り合い、飲み明かし、互いのそれなりの健康を讀え合い、そしてまたの再会を約し合ったりと、盛大にして有意義な、心に残る同期会となりました。

一〇六人の内訳は、男性一四一人、女性一六五人、ブロック別には関東一八二人、関西一七人、九州一六一人。今後の全国的な同期会はオリンピック年ごとに、次回は九州での開催を決めました。

翌十六日は、学生時代の修学旅行気分、観光バス二台に分乗、京都観光を楽しみました。

トクマル事務所

税理士
経営士

得丸大典

旧制竹田中学校20年卒

〒104 東京都中央区新川2-2-1
いずみハイツ茅場町1011
TEL.03 (3551) 1896
FAX.03 (3551) 1926



竹友会 40周年記念同期会盛大に開催される (於 京都)

ふるさと名所紀行

～久住連山～



撮影：山口克己

そのなだらかな景観が、仏様の寝姿にも例えられる久住連山は、六〇〇〜一〇〇〇m級の標高を誇り、ミヤマキリシマでエングレに染まる春、滴る様な緑が清々しい夏、豪華な錦絵も顔負けの紅葉を誇る秋、そして雪を抱いた峻厳な冬と四季を通じて独特の美しさを見せ、多くの詩人・歌人を魅了してきました。この連山の中心である久住山・大船山の南裾野に広がる久住高原は、子供の頃から遠足やキャンプなどで親しまれてきました。竹田高校出身の方なら一度は登ったことのある山々ではないでしょうか。今では、地形を生かしたレジャースポットも多く、県内外からの観光客で賑わっています。竹田高校には、長年に渡って代々優秀な成績をおさめ続けている体育系の部があります。県下でも一、二を争うというこの伝統の「山岳部」、部員の地道な努力もさることながら、常に気高い久住連山を北に、南に祖母山を抱いている地形の冥利もその意気昂揚に影響を与えているように思われます。

岡城からも美しく望める久住連山ですが、この写真は、観光道路を仏舎利塔に下る途中の「そぞうの丘」から撮ったものです。晴れた日には左端の「肥前ヶ城」の先に「阿蘇山」が、返り見れば「祖母山」の威容が一望にできる絶好のスポットとなっています。

第3回 移情櫻樹碑

渡辺 正治 (昭10年卒)

柴山家は代々大河内氏に仕えた。大河内氏は度々国替となり丁度武蔵・川越の領主となった時、風来先生が生まれた。

先生は生まれ乍ら賢く、初め宗の程子朱子の学問に傾倒した。後に荻生徂徠が江戸で李氏王氏の学説(五経)を唱えるに当たり江戸に行き徂徠の門下に入った。然し不幸にして大河内公の為にしりぞけられ、それから後は町や市中を点々とする。常に家族と共に貧に苦しんで彷徨し、殆ど収入もなかったが、志は益々堅く、常に学問の楽しみを棄てなかつたと言う。

当時の我公(中川久貞公)は最も学問を重んじた。先生が才能の宝を持ち乍ら田舎に朽ち果てようとするのを憐れんで、礼を厚くして岡藩に招待した。

先生の性格は穏やかで上品であり、又和歌を嗜み風景を眺めて歩くのが好きであった。その為時には詩歌を書いた紙片で文籠が一杯になった。しかし小手先の技で名を上げる事は嫌いで、書物は一冊も残してないので、先生を知る者は少ない。

先生は岡藩に二十余年勤務したが、大河内公から帰藩を命じられ江戸の某所で隠遁生活を過



ごして、明和八年九月二十九日(二七七二)天寿を全うして他界された。

先生は元禄五年(一六九二)の生まれであり、八十才余の生涯を終えられたのである。江戸谷中玉林寺に葬られ、一切は墓誌に詳しく記載されていると云う。

一付 記

中川久貞公(岡藩八代・清秀公より十代)は川越城主松平氏の一族であり、三河・吉田の藩主信祝公の次男である。寛保三年より寛政二年(一七四四〜九〇)まで四六年の長きに渡る領主であり、教育に熱心で藩校由学館の設立も、学者唐橋君山を招致したのも久貞公である。公が同郷の風来先生に関心を持ったのも当然であろう。

岡城の天守跡から南を見ると、小さい乍ら富士山に似た黒々とした山が見える。この山が小富士村の小富士山で、何れも久貞公の命名であり、公自身の廟墓はその山頂にあり、この程国の指定史跡となった。

古来竹田は文教の里と呼ばれ、多くの文人・画聖を生んだのも、さてこそと思う次第である。(元

訃報

慎んでお知らせ申し上げ、心から冥福をお祈り致します。

平成8年4月19日 没
矢嶋 三義(昭4年卒)
平成8年5月6日 没
後藤 鉄石(昭10年卒)

矢嶋三義さんの死を悼む

伊東 七五三八 (昭20年卒)

わが竹田高校の大先輩、矢嶋三義さんが平成八年四月十九日、八四歳で亡くなりました。矢嶋さんは参議院議員を二期勤められ、日教組の三羽鳥として、際立った活躍をされました。その弁舌のさわやかなこと、理路整然として、容易に他の反論を許さない理論家でありました。それは常に資料の整理を怠らない勉強家であったからだと思えます。また、矢嶋さんは後輩の面倒をよくみられる方でもありました。私自身公私共にお世話になり大恩人と思っております。矢嶋さんについて私の心に強い印象として残っていることは、三菱重工の当時の社長が、「今日の私があるのは矢嶋先生のおかげ」と産経新聞に書いて

あったことでもあります。その社長が昭和十九年という太平洋戦争の最中に、校長先生に勧められて、海兵の願書を担任の矢嶋先生に提出したところ「軍隊に行くことだけが国の為めではない。お前は五高に行け」といつて、目の前でその願書を破り捨てたというのであります。そのことを矢嶋さんに話したところ、「私は反戦思想家ではありませんでした」との返事でした。普通のことをしたに過ぎないという事です。

矢嶋さんはすぐれた教育者でもあったのです。

畏友後藤兄を偲ぶ

渡辺 正治 (昭10年卒)

五月六日、思いも寄らず旧友鉄石氏(旧名登代三君)の赴報に接し、信じられない思いであった。二月入院されたが三月には無事退院され、十八日自宅へお見舞いに行き、和服姿の元気なご本人と歓談して別れた許りであった。

彼とは竹田中学の同級生であったが、秀才の彼は四年卒で旧制佐賀高校を経て、昭和十二年東大法学部に入學、極めて実直そのものの性格であった。

母校創立九十周年を期して、竹田高校関東同窓会が発足して五十三年ぶりに交友が再発した思いであった。

平成三年、彼から珍しい書物「回想の昭和塾」が贈られた。昭和塾は後藤隆之助氏を塾長とする有志の集まりで、昭和十三年設立・十六年末に解散したが、当時第一級の学界・政界・文化人を会員・講師とする集りで、多難な昭和の新时代に対応する人材を育成する企画であった。塾の講師に熊本の佐々弘雄氏がおられ、彼の最も尊敬する師であった。先生の個人的師事に接する為に、彼は自ら左手親指を切つて血書の入門願を提出し、先生の感動をよび入門を許されたのだと言う。彼がその名を「鉄石」と改めた意中が察せられるのである。

当時の大学の教育の在り方に満足出来なかつた彼は、昭和十五年昭和塾第三期生となり、十六年十二月東大繰上卒業、十七年二月熊本陸軍に入隊、陸軍主計大尉として終戦まで中国戦線で生死の境を過したのである。

佐々弘雄先生は佐々友房氏の三男であり、彼の血書は五十年たった今も佐々家に保存されている由で、彼は今は亡き先生の写真を書齋に飾り、一日も忘れる事なく仰ぎ見て三省のよすがとして居ると述べて居る。

今まで少しも知らなかつた友人の人の一面を知り、慙愧の想いが深く、心底より冥福を祈り上げる次第である。

追悼の詩

両先輩を偲んで



石原田鶴子 (昭14年卒)

● 矢嶋先輩へ

言論に生き政治道に徹したる大先達のみまかりしとふ
会の度 飄々たる御姿で表はれて熱っぽく竹田を語りたる君
足弱く稲葉会に出られぬと何時も返事で歎きし奥様

看取りたる夫君に逝かれ日なくして君も逝かれしと人づてに聞く
健やけき御姿の二人手を取りて岡城の草の上歩かれん

● 後藤先輩へ

故郷の懐かしき菓子届くれれば
同郷の師は逝き給いしと
大垣の柿羊羹うましと喰みしとふ人の冷たき頬に手触れぬ
ステッキに中折帽子和服にて悠然と散歩する人の姿今なし
毎日の散歩も一生も恰好よく
生きてる人の姿は幻

我が家の箱根うづぎも花掲ぐに
忽然と逝きし人を思えり

『お知らせとお願い』

● 関東同窓会会員名簿を
目下改訂中

※お願い!!

- ①各学年幹事の詳細な再点検
- ②記載漏れの新規掲載

名簿中の誤字・脱字等々お気付きの方は名簿委員長又は事務局(渡辺五月)までご連絡下さい。

関東同窓会事務局

TEL 〇三(五二五二)二七三〇
FAX 〇三(五二五二)二七五〇

編集後記

この夏は異常な猛暑の連日でありました。皆様に今後も楽しく関心をもって気楽に読んで戴ける会報の編集に努める所存です。私共委員の大半が不慣れにつき、各紙面について数々のご叱責・ご批判を戴けますれば一同誠に幸甚に存じます。

※「投稿」をお待ちしています!!

・投稿内容

- ①クラス会情報
- ②故郷の便り
- ③海外便り
- ④会員の語らい
- ⑤詩歌
- ⑥会員の催し
- ⑦会員消息
- ⑧その他

・連絡先

T 279
千葉県浦安市今川2-10-31
神田 清 宛(広報委員長)
0473-54-9456